

初冬の八方尾根へ行く

冬山情報 4 12 / 5

「立山・剣岳」の富山は、相変わらず天気の悪い日が続いています。

本当に久しぶりに、山に行くチャンスに恵まれたので、天気予報とにらめっこ・・・

新穂高ロープウエーは、休業中なので結局、天気の回復が予想される「八方尾根」へ行くことにした。

・・・2日前は-5 までになる予定だったが、今日は急に暖かくなった。

山の頂きが、まったく見えないほどの曇り空だったのだが、ゴンドラに乗り込んでからは気持ちが一変した。・・・雲の上は、快晴なのだ。・・・

多少「高曇り」があるものの、「五竜岳」「鹿島槍ヶ岳」「唐松岳」、上越の山々がしっかり見え始めた。

この景観を眺めただけでも十分に満足な1日であった。

今日の日程

滑川 - 糸魚川 - 白馬 8:15 - ゴンドラ終点 8:30 - 八方山荘 9:00 - 第3ケルン 10:00

- 八方池ケルン 11:00 - ゴンドラ 12:00 - 白馬駅 12:30 - 糸魚川温泉 13:30 - 滑川

今日は、予想していたより暖かった、一応チェーンは用意したのだがその必要は全然なかったようだ。スキー場はほとんど雪がない状態、ホームページの紹介では、30cmほどの積雪と書いてあったのだが・・・



ゴンドラの終点に降りると一面の銀世界。ラッキーにも、予想通り天候の回復の兆しが見えてきた。後ろ立山連峰も見え隠れする。スキー客も、登山者も誰もいないゲレンデで、越冬隊員のような二人に出会った。・・・夜中に人口雪の装置の管理だそうである。大変に・・・ご苦労様です。



天気が幸いし、雲海が出てきた・・・白馬三山の方もくっきり。
上越方面の山々は雲上の彼方にはっきり姿を現していた。



五竜岳・鹿島槍が見えてきた。今日は本当に、ハッピーな気分だ。
誰もいない、八方尾根を独り占め。とてもとても、贅沢な気分だ。・・・



いよいよ、雪が深くなってきた。ついに、「立山かんじき」をはくことになった。
吹き溜まりの場所とやや硬いクラスト状態のところ交互にあるので、結局は「かんじき」の方が歩きやすいよう
だ。



稜線上はさすが風が強く寒い、雪がいよいよ硬くなり、かんじきをつけたり、はづしたり・・・大変忙しい・・・

いよいよ、今日の目標の丸山ケルン・・・唐松岳が見えてきた。
天気もよく視界がよくなってきたので、気持ちがあせる。



八方山のケルン手前より、「シュカブラの登山道」。美しい「雪の紋様」と唐松岳への八方尾根の稜線を望む。



しかし、肝心の「不帰の剣」の方角がうす曇がかかり、視界が悪くなってきた。・・・残念・・・
五竜岳にも、雲がかかってきた。



やや、不安になってきた。・・・

でも時折だが、五竜岳・鹿島槍がくっきり見える。時間はたっぷりある、このまま何とか丸山ケルンまで天気もたないかな????この辺から、ようやく雪がしまりアイゼンが必要か???



しばらく誰も登っていないようなので、トレースもなく、かんじきをはいてひざまで「がぶる」ようになった。

そのため結構時間がかかってしまった。

ようやく、八方池のケルンに着いた。

丸山ケルンまでは1時間ほどあるのに天候が悪くなってきた。

・・・決断・・・もう降りよう・・・



五竜遠見尾根が雲の上に浮かび、とても印象的だったので、降りる途中、写真を撮り続けた。



雲の上に浮かぶ、中央アルプスは絶景・・・圧巻だ。右の写真は、五竜遠見スキー場・・・まるで・・・天空の城「ラピユタ」?????



あまりにも絶景なので、名残り惜しく・・・またまた撮ってしまった。・・・今日の写真は、天気が強くて光がかぶり、写りが今ひとつだったのは残念だった。



一番上のリフトだけは、夏山とスキーのシーズンにのみ運行している。今日はまだまだ動いていないのでここは、ひたすら登る。しかし、次第に雲が晴れてくるので、暖かいし、最高の登山びよりとなった。

